

GCOE特別講演会報告書

開催日時： 9月8日（火）午後4時30分～6時30分

開催場所： 理学部6号館3階303講義室

講師： バーゼル大学 教授 Helma Wennemers

演題： Bioinspired Chemistry Using Peptides - From Asymmetric Catalysis to Silver Nanoparticles

講演者は、スイスの「ペプチド化学」分野において活躍している研究者であり、スイスを代表する中堅有機合成化学者の一人である。コンビナトリアルケミストリー的手法を利用したペプチド化学、特にペプチドを有機触媒として用いる不斉合成化学分野で精力的に研究を行うなど、自ら開発したアプローチをより汎用性の高い方法にすべく心がけており、この分野で顕著な業績を挙げている。今回の講演では、多数のペプチドのスクリーニングによる不斉アルドール反応や1,4付加反応に適した有機触媒の開発について説明し、その結果を系統的に述べて頂いた。さらに、最新の研究成果としてペプチドを核に利用した銀粒子の形成にも言及し、ペプチドの選択による銀粒子の粒径の変化について説明して頂いた。

大学院理学研究科化学専攻有機化学系研究室（有機化学・有機合成化学・集合有機分子機能）、大学院工学研究科材料化学専攻有機化学系研究室（機能材料設計学・有機反応化学）、化学研究所物質創製化学研究系研究室（有機元素化学）より、教員、ポスドク約10名、学生約30名の参加があった。

